

取組概要

プログラムの目的

変動する社会情勢の中で、データを駆使しAIと共存しながらビジネスで活躍する女子を養成する

身につけられる能力

今後の社会において必要とされるデータを読み解く力とAIを活用するために必要な知識及びスキル

プログラム修了要件

以下の4科目7単位（必修科目）を取得する

データサイエンス・AI入門（1年 前期）

社会での抱負な活用事例からデータサイエンス・AIで実現できる内容と課題の両面を学び、様々なビジネス・サービスの展開へとつなげていく基礎となる考え方を身に付ける

情報基礎（1年 前期）

コンピュータリテラシーおよび情報倫理・研究倫理の知識、情報セキュリティの知識を身に付ける

科目構成

データサイエンス基礎（1年 後期）

データを読み取り、価値のある事実を導き出し、判断や問題解決に活かす統計学の基礎的な手法を、社会の事例をもとに学び、問題解決に活用する方法を身に付ける

データエンジニアリング基礎（1年 後期）

プログラミングの基礎からデータベースやWebアプリケーションとの連携までを学び、コンピュータでデータを利活用したサービスを社会に広く発信する方法を身に付ける

- ・ 社会動向、最新技術や知見を反映した実践的な演習やプロジェクトベース学習
- ・ AIによるコード生成技術等を活用した実践と理解のサイクルの加速

プログラムを自己点検し、改善・進化させるための体制

教学マネジメント推進会議

データサイエンス・AI分科会

教務委員会

初年次ゼミナール教員

分科会会議

カリキュラムやシラバスの見直し、効果的な学習支援体制の構築、教員の専門知識・教育スキル向上のための研修、学習到達度の評価、外部の意見聴取

学びのサポート体制

グループウェアや個人メッセージ等の活用による個別の学修指導、学修状況の共有

産業界等、学外有識者

教育プログラム科目担当教員

プログラム履修者・ゼミナール生